

2017年8月9日

株式会社電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 コード番号: 4324)

問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション局 局長 河南 周作

TEL: 03-6216-8041

## 2017年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2017年8月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の動向等を踏まえ、本年2月14日に開示した2017年12月期（2017年1月1日～2017年12月31日）の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 当期の連結業績予想数値の修正（IFRS、2017年1月1日～2017年12月31日）

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2016年1-12月)
収益(百万円)	978,500	933,000	△45,500	△4.6	838,359
売上総利益(百万円)	929,500	884,000	△45,500	△4.9	789,043
調整後営業利益 (百万円)	168,900	160,300	△8,600	△5.1	166,565
親会社の所有者に帰 属する調整後当期利 益(百万円)	111,800	105,900	△5,900	△5.3	112,972
基本的1株当たり 調整後当期利益(円)	392.09	374.60			396.20
営業利益(百万円)	151,500	136,500	△15,000	△9.9	137,681
親会社の所有者に帰 属する当期利益 (百万円)	86,600	86,800	+200	+0.2	83,501
基本的1株当たり 当期利益(円)	303.71	307.04			292.85

(注1) 「調整後営業利益」は、営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、被買収会社に帰属する株式報酬費用ならびに減損、固定資産の売却損益などの一時的要因を排除した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

(注2) 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益から、営業利益に係る調整項目、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標です。

## 2. 当期の個別業績予想数値の修正（日本基準、2017年1月1日～2017年12月31日）

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2016年1-12月)
売上高(百万円)	1,574,800	1,551,800	△23,000	△1.5	1,600,196
売上総利益(百万円)	232,000	223,300	△8,700	△3.8	234,846
営業利益(百万円)	59,400	50,500	△8,900	△15.0	64,736
経常利益(百万円)	77,200	72,100	△5,100	△6.6	97,131
当期利益(百万円)	63,100	60,900	△2,200	△3.5	91,962
1株当たり当期利益(円)	221.30	215.42			322.52

## 3. 理由

今年に入り、消費財メーカーの大手広告主を中心にグローバルレベルでマーケティング予算を見直す動きが顕著となっていることなどから、海外事業を中心に売上総利益の伸び率が、期初想定を下回ると見込まれるため、上記のとおり修正いたしました。

なお、今回修正予想の為替換算レートは、2017年1月～6月の平均レートを使用しています。

## (参考)為替換算レート

	前回発表予想	今回修正予想	前期実績
円/USD	114.8 円	112.4 円	108.9 円
円/GBP	141.6 円	141.4 円	147.8 円

以上

(注)この資料に記載しております収益および利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断および仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の収益および利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。